

用意するもの

- ・厚紙や画用紙
- ・えのぐと筆、ペンなどの画材
- ・はさみ
- ・両面テープやのり、またはボンド
- ・糸やテグス
- ・木や針金、竹ひごなどの棒
- ・きりや画びょうなど穴をあけるもの

薄い紙だと湿気などで丸まってしまうよ

1 型紙をコピーして厚紙に転写する
A3サイズくらいがオススメです

型紙を切ってなぞったり、厚紙を型紙の下にひいてボールペンで強くかいて線を写すといいよ

2 パーツを切り出して色をぬるとげとげパーツは余った部分で三角に切ってみよう

細さや長さをかえて20個くらい作ってみよう

3 型紙の点線の部分を折って貼り、模様を描きます

4 えのぐを乾かしたとげとげパーツはバランスをみて切って調整し貼り合わせます



5 パーツにきりなどで穴をあけ（穴をあける重心に注意！）糸やテグスなどを通し長めに切っておきます木や針金などの棒に結びつけ、吊り下げます

重心の決め方はマスキングテープで糸を仮止めて穴をあけるとやりやすい！

6 糸の場所や長さを調節してバランスがとれたら完成！

バランスは下にさがった方に糸をずらそう

写真では顔を別にしてボンドではりました

顔や模様、色をオリジナルにしてもいいね！裏もペイントしても◎

重なる部分に両面テープを貼るとらくちん

吊り下げる棒の準備

- ・棒の長さはパーツの大きさを並べて決めよう。1本でも、2本に分けても。分ける時は長い棒の片方に短い棒を吊り下げてバランスをとってみてね。
- ・針金はまっすぐでも、曲げてバランスをとってもいいね。固い針金はペンチを使おう。
- ・針金とテグスはすべて場所が固定されないの、針金をねじってわっかにしてずれないようにしてみよう。糸は巻きつけてボンドでも止められるよ。
- ・棒の重心（真ん中）にひもをつけておこう。



旧東京庁舎にあった大きな陶板レリーフ作品！

岡本太郎 《月の壁》 1956

生かされなければならぬ。実際に、入れられ、

芸術はどんなに純粹で、実験的であっても、何らかの形で生活の中にとり